

平成23年度 第1回 石巻しんきん経営塾 情報交換会を開催しました

「震災中に経営塾生同士の支援や絆が発揮された」と発表がありました」



高橋塾長挨拶



情報交換会 会場の風景



交流グループ



視察グループ



研修グループ

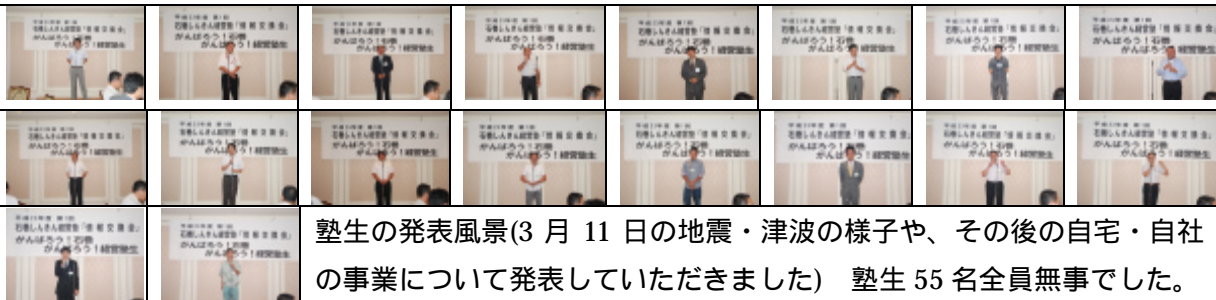


交流グループ

石巻しんきん経営塾は3月11日の東日本大震災により事業活動が中断していましたが、被害状況の確認や情報交換を行い、塾生が団結して復興に取り組むことを目的として、平成23年度第1回情報交換会を開催致しました。（参加者は30名でした）

交換会内容

- 1.高橋塾長挨拶
- 2.事務局連絡事項 山形信用金庫様、大垣信用金庫様よりお見舞金をいただきました。
「ざくろ坂プロジェクト」について説明。
- 3.「みやぎ中小企業復興特別資金」について説明。（法人営業課 川井課長より）
- 4.情報交換会



塾生の発表風景(3月11日の地震・津波の様子や、その後の自宅・自社の事業について発表していただきました) 塾生55名全員無事でした。

～塾生の発表を抜粋しました～

自宅、会社は全壊したが、魚市場の再開に向けて頑張っている。

会社、自宅は全壊、船も2艘が被災した。

海から500m先が会社、地割れ、車通れない状況、2m50cm～70cmの波で会社の2階に上ってなんとか助かった。建物の柱だけ残った。機械修理を大阪より呼んで対応した。

廃タイヤの仕事で忙しい…発電機4台、14時間稼働をしている。6,000万円の機械を購入して対応する。

津波被害で本社、自宅何もなくなったが8月1日より仕事始めた。黒沢さん津波で車ごと流され電柱で助かったのを目撃した。本店事務所は蛇田に間借りしている。経営塾生は家族のような気持ちで、これからの励みになる。

店舗が全壊して塾生企業の建設会社にお世話になっている。

震災当時は東京ビックサイトにいた。TELつながらない。社員、家族の情報がない。テレビ見ながら精神的に気が狂いそうだった。石巻に帰ると自宅が地震で全壊。塾生のみんなど会って一歩ふみ出すことができる。アイデア、喜びを感じている。浜の魚網でミサンガ作りを支援している。

当日仕事だった、地震被害が無かったが、津波で若い従業員1人が犠牲になった。

水が引かず4日間会社に近づけなかった。設計室が港湾道路の方に流されていた。

機械、キャド、書類、が被害を受けマイナスからの出発。機械自分で直して動いているものもある。全国から支援うけてやっている。

ビジネスフェアが楽しかった。防災マニュアルがあるが、マニュアルにない高台に避難して助かった。3日間避難所にいた。自宅全壊、2階に居住。日本製紙の社宅に仮事務所。

大地震のとき夢中で神棚の酒をつかんでいた。従業員のワンセグで津波がくることを確認した。従業員を帰してから最後に逃げたが津波が来たので、車を捨てて山に逃げて助かった。

3日後会社に行くとシャッターが壊れいろいろな物が突っ込んでいた。

6月1日から機械を入れ直して現在は忙しく仕事をしている。

商品1/3水につかった。市から食べ物を援助物資として提供するように言われ、倉庫に満杯にしてあった品物を車と一緒に2～3回提供した。自社も被災しながら支援物資を提供した。

取引先海岸部多い。商売出来ない人が多い。ピンチをチャンスに考えて頑張っていく。

大手埠頭に行ったとき、津波がきてワゴン車でにげた。大街道方面に船を出して人命救助した。クレーン4台、小船(20t)3隻、モーターも全壊した。

建設業は復興に来てくれの要望が多い、ピンチをチャンスに、残された者として子供や従業員を養っていきたい。

矢本の大曲浜工場で被害(4m位)、すぐ停電したので従業員を家に帰して従業員無事だった。

6月より石巻市内の自動車工場を借りて営業している。トラック新車入って忙しい。

5ヶ所の工場のうち3ヶ所更地になってしまった。

当時住吉の自宅で胸のところまで津波、住吉小学校に避難して2日間いた。

校庭に渦がまく様子を写真取っていたが次第に受けつけられなくなってやめた。

生きのこった人で、俺たちのふるさと石巻を盛り上げよう。

経営塾のつながりが最大有効で期待している。

経営塾に入っていたから、これまで交流が無かった経営塾生の皆さんに手伝ってもらった。

大変感謝している。工場は4mの津波で機械など大被害だった。今回の被災で経営塾生を仲間と感じた。NHKビジスポに出演して遠方の知人から見たとTELあった。経営塾に入っていて良かった。経営塾と連携して役に立っていきたい。

5.高橋塾長 総評

塾生の皆さんのお話を聴いて、塾生1人の犠牲もなかったのが本当に良かった。

生き残った我々に何かをなさいと言っていると感じている。

力強い復興にむかっていると感じ、経営塾生を大きな力にして、地域に貢献することで、地域の復興を誓って講評としました。

6.「がんばろう石巻・がんばろう塾生」を全員で唱和し閉会しました。